

遠隔病理診断支援システム



統合型次世代映像伝送システム

EyeVision Neo



アイビジョン *Medical care*

高画質

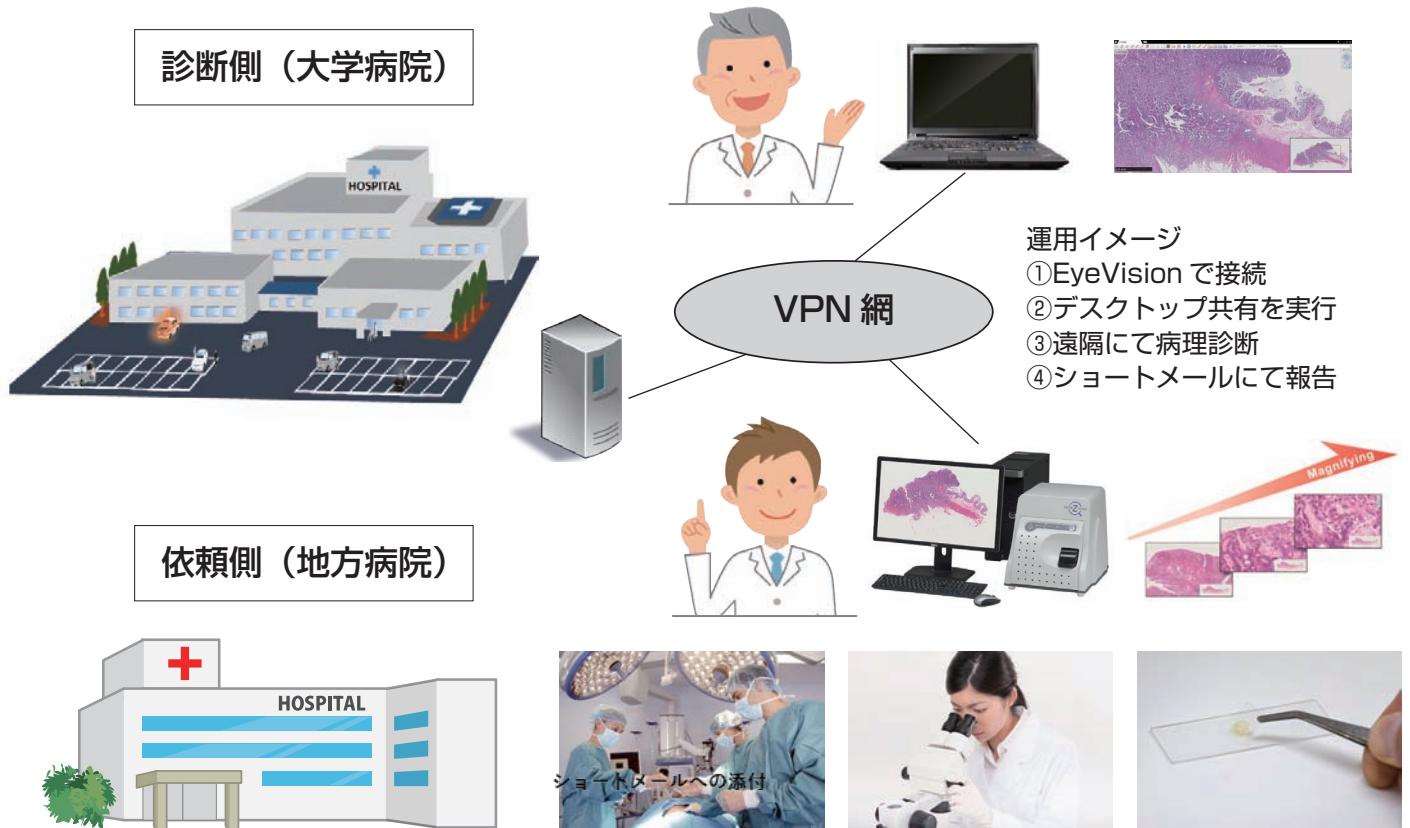
高音質

低遅延

遠方の病理診断医がバーチャルスライドを遠隔操作。
高品質なビデオ会議機能で、病理診断を支援致します。



遠隔病理診断支援システムの概要



顕微鏡用PC画面の共有及び遠隔操作

適用：1対1通話

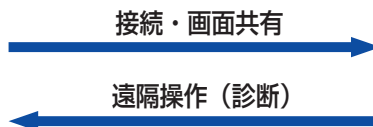
- ①顕微鏡又はバーチャルスライド用のPCの画面を共有して、遠方からの遠隔操作が出来ます。
- ②高レスポンスで乱れの少ない画面操作を実現します。

バーチャルスライド

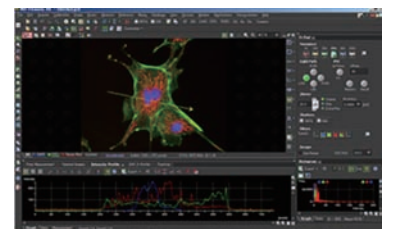
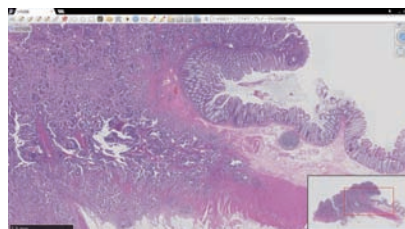


接続手順

- ①依頼側より接続
- ②PC画面共有の実行
- ③診断側より遠隔操作



閲覧用端末



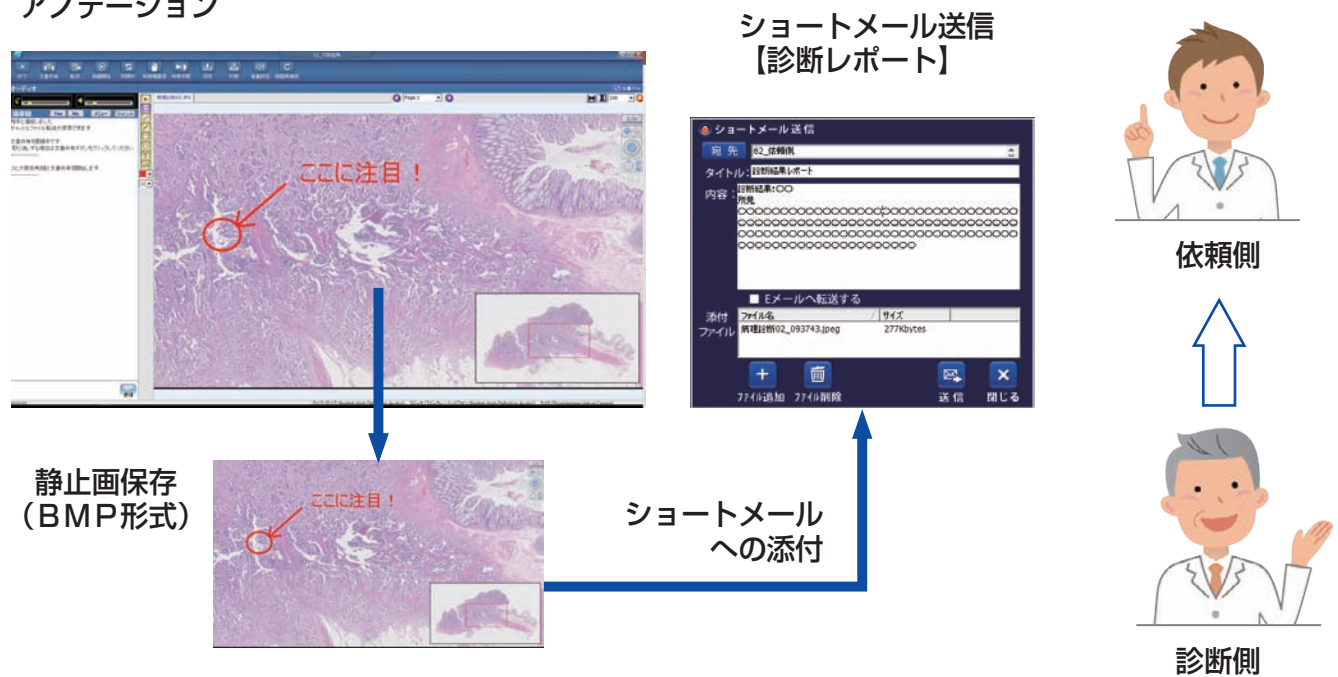


アノテーション及び診断結果レポート

適用：1対1通話

- ①共有しているPC画面に対して、アノテーションを行うことができます。
- ②画面を静止画（BMP形式）保存して、診断レポートに添付して送信出来ます。

アノテーション

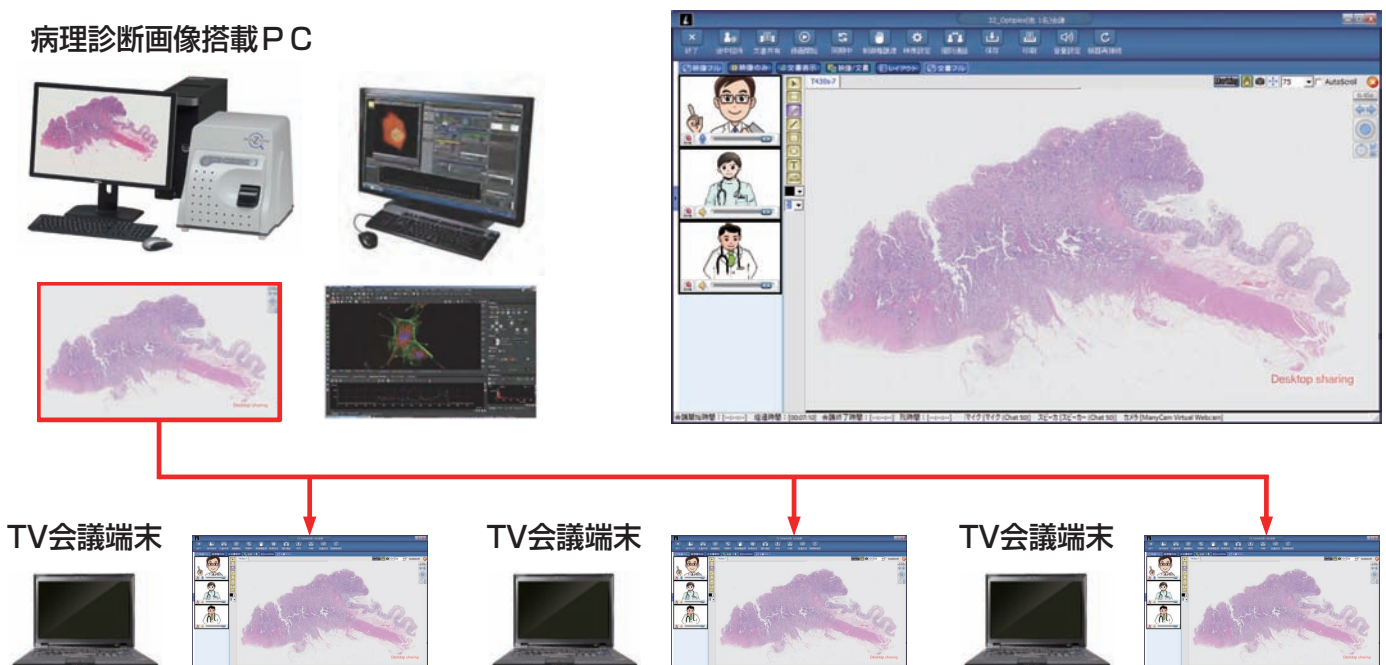


遠隔カンファレンス

適用：TV会議機能

- ①TV会議機能を利用して、複数拠点を接続したカンファレンスが出来ます。
- ②顕微鏡用PC画面を共有して、参加者全員が遠隔操作する事が出来ます。

病理診断画像搭載PC





EyeVision のセキュリティポリシー

EyeVision は、企業の基幹業務で利用できるように設計された
高セキュリティシステムとなっております。

Point 1 全パケットの暗号化



ショートメール、文章共有データ、映像、音声 等全てのデータに対して、256bit AES暗号化を施しております。

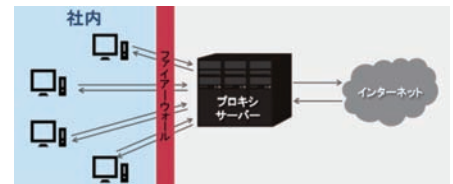
※暗号化の鍵は、ログイン時及び会議室入室時に都度作成されます。
※ログイン時のユーザー名及びパスワードも独自の暗号化が施されております。

Point 2 多段プロキシ対応 認証付プロキシ対応



HTTPトンネリングにより、複数の認証付プロキシサーバーを通過出来るように設計されております。

※これに関しては相性問題がございます。



提供機能

		PC版 Windows	Mobile版 Android/iOS
映像設定	標準モード	○	○
	高画質モード	OP	OP
	FullHD 対応	OP	OP
TV 会議	映像伝送	○	○
	デスクトップ共有 A	OP	×
	デスクトップ共有 B	OP	×
1対1 通話	映像伝送	○	○
	デスクトップ共有 A	OP	×
ライブ配信	映像伝送	○	○
一般機能	ショートメール	○	×
	文字チャット	○	×
	録画機能	○	×
	リモートメンテ	○	×

※OPは、オプション契約で提供される機能です。
※詳細は、別紙「総合ガイダンス」をご参照ください。

動作環境

	必須	推奨
OS	Windows 7	Windows 7/8/8.1/10
CPU	第3世代 Core i3	第5世代 Core i5
メモリ	4GB 以上	4GB 以上 [Win7] 8GB 以上 [Win8以上]
モニタ解像度	XGA(1,024×768) 以上	
サウンド	入出力機能を備えたサウンドカード	
使用ポート [通常]	TCP [80] [5432] [9000~9006] UDP [9000~11000]	
HTTP トンネリング時	TCP [443]	
Mobile 対応 OS	Android5.0 以上 iOS10 以上	
iOS 対応機種	iPhone5s 以上 iPadAir2 以上	

※必須動作環境とは、5拠点間で映像・音声のみ（映像15フレーム）の会議を行うために必要な環境です。但し、PCに余計な負荷がかかっていない状態であることを前提と致します。

※USBカメラ及びUSB音響機器は、直接PCのUSBポートに接続してください。

※無線LAN及びモバイル環境下での動作は、保証の対象外となっております。

※PCの処理能力、周辺機器との相性、及び回線帯域が細い場合は音切れあるいは、音声遅延が発生する場合がございます。

※その他制限事項に付きましては、別途補足資料をご参照ください。